

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公開番号】特開 2019-176160 (P2019-176160A)

【公開日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-041

【出願番号】特願 2019-81875 (P2019-81875)

【国際特許分類】

H 0 1 F 1/059 (2006.01)

H 0 1 F 41/02 (2006.01)

H 0 1 F 1/055 (2006.01)

H 0 1 F 1/057 (2006.01)

H 0 1 F 1/08 (2006.01)

H 0 1 F 1/06 (2006.01)

C 2 2 C 33/02 (2006.01)

B 2 2 F 3/00 (2021.01)

B 2 2 F 1/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/10 (2018.01)

C 0 8 L 23/12 (2006.01)

C 0 8 L 23/26 (2006.01)

C 0 8 L 71/12 (2006.01)

C 2 2 C 38/00 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 F 1/059 1 6 0

H 0 1 F 41/02 G

H 0 1 F 1/055 1 8 0

H 0 1 F 1/057 1 8 0

H 0 1 F 1/08 1 3 0

H 0 1 F 1/057 1 2 0

H 0 1 F 1/06 1 1 0

H 0 1 F 1/055 1 2 0

C 2 2 C 33/02 G

B 2 2 F 3/00 F

B 2 2 F 1/02 E

C 0 8 K 3/10

C 0 8 L 23/12

C 0 8 L 23/26

C 0 8 L 71/12

C 2 2 C 38/00 3 0 3 D

B 2 2 F 1/00 Y

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 18 日 (2021.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

塩基性基を含む被覆層を有する希土類鉄窒素系磁性粉末と、酸変性のポリプロピレン樹脂と、ポリプロピレン樹脂と、ガラス転移温度が 120 以上 250 以下の非晶性樹脂と、数平均分子量 9000 以下のポリプロピレン樹脂とを準備することと、

前記塩基性基を含む被覆層を有する希土類鉄窒素系磁性粉末と、前記酸変性のポリプロピレン樹脂と、前記ポリプロピレン樹脂と、前記ガラス転移温度が 120 以上 250 以下の非晶性樹脂と、前記数平均分子量 9000 以下のポリプロピレン樹脂とを混練することにより、混練物を得ることとを含み、

前記希土類鉄窒素系磁性粉末 100 重量部に対して、前記酸変性のポリプロピレン樹脂が、3.5 重量部以上 10.4 重量部未満であって、前記ポリプロピレン樹脂及び前記非晶性樹脂の合計が、0.35 重量部以上 3.88 重量部未満であるボンド磁石用組成物の製造方法。

【請求項 2】

前記酸変性のポリプロピレン樹脂において、ポリプロピレンに対する酸変性の比率が 0.1 重量%以上 5 重量%以下である請求項 1 に記載のボンド磁石用組成物の製造方法。

【請求項 3】

前記ポリプロピレン樹脂及び前記非晶性樹脂の表面に、前記数平均分子量 9000 以下のポリプロピレン樹脂が存在する請求項 1 または 2 に記載のボンド磁石用組成物の製造方法。

【請求項 4】

前記数平均分子量 9000 以下のポリプロピレン樹脂は、変性していないポリプロピレン樹脂を含む請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項 に記載のボンド磁石用組成物の製造方法。

【請求項 5】

前記希土類鉄窒素系磁性粉末 100 重量部に対して、前記数平均分子量 9000 以下のポリプロピレン樹脂が 0.01 重量部以上 3.5 重量部以下である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項 に記載のボンド磁石用組成物の製造方法。